

## 弊社サイトのご案内



旅行プランのオンライン検索・予約のほか、充実した関連サービスをお届けしています。

<http://www.knt.co.jp>



会社案内・IR情報ページでは、経営情報、各種IR情報をご覧いただけます。

<http://www.knt.co.jp/kouhou>



実績と信頼の  
国内パッケージツアー  
「メイト」



多彩なプランと快適な  
海外パッケージツアー  
「ホリデイ」



次は、もっと自由に!  
航空券と宿泊の選択組み合わせ  
海外旅行ダイナミックパッケージ  
「旅せるふ」  
<http://tabiself.com>



訪れた地での幅広い過ごし方を  
提案、紹介するサイト  
「旅の発見」  
<http://tabihatsu.jp>

### 免責事項

本株主通信に掲載している将来に関する予想については、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、異なる場合があることをご承知おきください。

近畿日本ツーリスト株式会社

株 主 通 信

第72期(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

### INDEX

株主の皆さまへ	1
事業別の概況	3
TOPICS	4
スペシャルレポート	7
「!」を創造する舞台裏	9
連結財務諸表	11
企業理念／ブランドステートメント／会社概要	13
株主メモ	14

**knt!**  
近畿日本ツーリスト

カタチにします。ときめき・キラメキ・おもてなし

**knt!**



代表取締役社長

吉川勝久

株主の皆さまには益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。  
さて、平成21年12月31日をもちまして第72期の決算を行いましたので、ご報告申し上げます。

### 事業の概況 (平成21年1月1日から平成21年12月31日まで)

当期のわが国経済は、一部に持ち直しの動きがあるものの、雇用情勢の悪化、個人消費の低迷等、厳しい状況が続きました。旅行業界におきましては、法人需要の減退や個人消費の低迷に加え、新型インフルエンザによる影響を大きく受けました。

このような厳しい経営環境のなか、当社は前年に実施した事業再編を土台として、各事業部門が専門性・独自性・効率性を徹底的に追求するとともに、販売・費用両面において構造革新に取り組み、収益力の改善に努めてまいりましたが、景気の低迷等もあり、遺憾ながら業績の回復には至りませんでした。

当期は、イベント関連旅行では、トカラ列島における皆既日食観測者の受入業務を受託し、同ツアーを盛況のうちに実施したほか、第30回の記念開催となった当社独自イベント「まつりインハワイ」において昨年を大きく上まわる集客をいたしました。また、新型インフルエンザの影響によりいったん取消された修学

旅行を再実施するための企画提案と継続的な営業を行いました。一方、業界で初めて「国連の友Asia-Pacific」と提携したほか、広く他業種との協力を進め、約3,400万人の会員数を擁するTポイントに加盟し、同業他社との差別化を図りました。さらに、「ツアーリスト旅行券」がエコポイント交換対象商品に採用されたので、これによる旅行需要の拡大に努めました。

費用面では、希望退職の募集による要員規模の適正化をはじめ、人件費ほか諸経費の削減を実施いたしました。

なお、11月に株式会社近畿日本ツーリスト北海道および株式会社近畿日本ツーリスト九州を設立し、当期末後の平成22年1月1日、両社に対する会社分割を実施いたしました。

当社グループにおきましては、株式会社KNTツーリストにおいて、お客さまの動向に合わせて機動的な出退店を実施したほか、旅行業界を担う人財育成を目指して、3月に神田外語学院と旅行業界初となる教育実習制度について業務提携を行いました。また、9月にアジア地域におけるグローバル戦略の拠点強化のため、韓国に現地法人KNT KOREA, INC.を設立いたしました。さらに、事業拡大と一層の業務効率化を目的に、株式会社近畿日本ツーリスト東京事務センター、株式会社ツーリスト中部事務センターおよび株式会社ツーリスト関西事務センターが合併し、10月に株式会社KNTビジネスクリエイトとして発足いたしました。

しかしながら、売上高の減少に加えて、希望退職に伴う特別退職金をはじめとする特別損失計上等もあり、連結・個別とも多額の当期純損失を計上することとなりました。株主の皆さまには、ご心配をおかけすることとなり、深くお詫び申し上げますとともに、このような状況から、誠に遺憾ではございますが、期末配当は見送らざるを得ず、何卒ご了承を賜りますようお願い申し上げます。

なお、当社グループの業績は、次のとおりです。

	業績(百万円)	前期比
営業収益	62,785	14.6%減
営業利益	△3,339	—
経常利益	△2,891	—
当期純利益	△8,433	—

### 対処すべき課題

今後につきましては、わが国経済はなお先行き不透明な状況であり、加えてお客さまの購買チャネル多様化により、引き続き厳しい環境が続くことが予想されます。

そのような情勢下において、当社は、中期経営計画に基づき、旅行需要の動向に大きく左右されることなく安定的な利益を創出する体制の構築を目指して構造改革を加速してまいります。

個人旅行の中心であるメイト・ホリデイにおいて、独自性・競争優位性のある商品を提供するとともに、今後の成長が期待できるインターネット販売において、専門スタッフの配置や専用商品の開発により、大幅な販売拡大を目指します。店舗網につきましては、各店の採算性や将来性を十分検討し、ネットワークの抜本的な見直しを進めるとともに、コンサルティング機能の一層の充実を図り、人を介するサービスの強みを徹底的に追求してまいります。

さらに、「平城遷都1300年祭」「バンクーバー冬季オリンピック」「上海国際博覧会」「FIFAワールドカップ南アフリカ大会」といった多くの大型イベントが開催されますので、これに関連する需要を着実に取込んでまいります。

グローバル事業につきましては、拡大が続く中国などアジア地域に現地発旅行の企画・販売を主力事業とする現地法人を引き続き設立し、重点的に進出するとともに、国内においては、平成

22年1月に中国・アジアセンターを新設、訪日旅行の受入体制を整え、現地法人との連携のもと、取扱いの拡大を図ります。

費用面につきましては、不採算部門の撤退の迅速化を図るとともに、年金制度改革、パンフレット原価削減等により、固定的費用の圧縮を実行いたします。

組織面では、平成22年1月に、旅行事業創発本部を再編成し、事業収支の改善と仕入力の維持拡大を図るとともに、北海道・九州地区の団体旅行事業を分社し、一層地域に密着した営業を進めてまいります。

当社グループにおきましては、当社およびグループ会社相互のさらなる情報の共有を推進することにより、グループ会社の利用を徹底し業務効率を高めるとともに、グループ外需要の積極的な取込みにも努めます。

このような活動を進めていく上で、当社グループ共通の行動規範として、「常にお客さまの立場に立つこと」を掲げ、CSを推進し、「KNT」グループのブランド強化につなげてまいります。

当社グループ一丸となってこれらの諸施策をスピードをあげて実施することで、速やかに業績の回復を果たすとともに、安定的な経営基盤を構築いたします。

なお、岡山市所在の市立中学校の修学旅行について、平成21年7月10日に公正取引委員会から排除措置命令を受け、これを応諾することといたしました。株主の皆さまにご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。今回の事態を厳粛に受け止め、改めて全社を挙げてコンプライアンス体制の充実・強化と一層の意識向上を図り、再発防止を徹底し、信頼回復に努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも何卒倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年3月

当社グループの事業別の概況は、次のとおりです。

## 旅行業

### 国内旅行

団体旅行につきましては、修学旅行の取消しが相次いだ学生団体は、営業努力等により前年実績を確保いたしました。一般団体は、「トカラ皆既日食観測ツアー」や「第22回全国スポーツ・レクリエーション祭 スポレクみやぎ2009」などイベント関連旅行の取扱いに積極的に取り組みましたが、需要の減退等により全体としては振るいませんでした。

個人旅行につきましては、メイトはインターネット販売の取扱人数は前年並みだったものの、新型インフルエンザや景気の低迷により全体としては厳しい結果に終わりました。

### 海外旅行

団体旅行につきましては、法人需要の減退と新型インフルエンザの影響が大きく、学生団体、一般団体とも大幅に落ち込みました。

個人旅行につきましては、ホリデイは燃油サーチャージの引下げ、円高による追い風もあり、韓国を中心としたアジア方面やマイクロネシア等が好調で、全体の取扱人数は増加しましたが、低価格傾向が顕著であり、取扱額は減少いたしました。

外国人の訪日旅行は、「第29回世界新体操選手権」等大型イベントの取扱いがありましたが、急激な円高等の影響もあって、低調に推移しました。なお、従来英語のみであった外国人向けの国内宿泊予約サイトは、12月に中国語、韓国語を加え、多言語サイトとしてスタートいたしました。

### その他

商事部門につきましては、旅館・ホテル向けの付加価値の高い新商品の開発に努めました。また、旅行関連サービスにつきましては、パンフレット等の再生紙へのリサイクル等環境関連事業に取組みました。

これらの結果、旅行業全体の営業収益は、次のとおりです。

	営業収益(百万円)	前期比
国内旅行	44,521	14.2%減
海外旅行	23,299	16.6%減
その他	6,174	11.5%減
消去	△12,273	—
合計	61,722	14.6%減

## 損害保険業

損害保険業の営業収益は、次のとおりであり、前期を下まわりました。

	営業収益(百万円)	前期比
損害保険	1,063	19.2%減

## 外国人向けインターネット宿泊予約サイト「JTO」を多言語化

近年急増しているアジア地域から訪日されるお客さまにとっては、言葉の問題や交通機関の利用方法の複雑さが観光やショッピングの障害になることも少なくありません。そこでKNTは、平成21年8月に開設した英語版インターネット宿泊予約サイト「JTO (Japan Traveler Online)」の言語を拡張し、新たに中国語・韓国語版サイトを平成21年12月28日にオープンしました。

「JTO」は、国内約2,000件のホテルや旅館の宿泊予約ができ、複数のプランや宿泊施設を比較・検索できる機能も兼ね備えたサイトです。中国語・韓国語版サイトは、宿泊予約だけでなく、各種サービスを提供する企業と提携し、安心して旅行できるサポート機能、ナビゲーション機能を充実させていきます。



JTOトップ画面 <http://japantraveleronline.com/>

## 海外教育旅行安全対策セミナーを開催

KNTは「海外教育旅行安全対策セミナー」(主催:財団法人全国修学旅行研究協会)を平成21年6月~7月に大阪・東京・札幌の3会場で開催しました。これは海外旅行における危機管理の基本の習得をテーマに、学校の教職員向けに始めたセミナーで、5回目となる今回は合計214名が参加しました。

セミナーでは海外邦人安全協会理事の福永佳津子氏、日本旅行医学会専務理事の篠塚規氏、KNT専務取締役の越智良典がそれぞれの立場から安全対策について講演しました。

### 「国内修学旅行インフルエンザキャンセル費用保険」の取扱いを開始

KNTは小・中・高等学校の国内修学旅行がインフルエンザの流行によって中止になった場合に、旅行取消料などの一定割合を保証する保険の取扱いを平成22年3月以降に出発する旅行から開始しています。この保険は旅行取消料の50%を担保する保険契約で、保護者の負担を少しでも軽減させることを目的に新しく開発された、画期的な保険商品です。

## 平成21年10月1日よりTポイントサービスを開始

KNTは、平成21年10月1日出発分からの国内企画旅行商品「メイト」と海外企画旅行商品「ホリデイ」を購入されたお客さまに、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社が展開する「Tポイント」サービスを開始しました。

「Tポイント」とは利用金額に応じて「Tポイント(1ポイント=1円)」が貯まる共通ポイントプログラムで、平成21年6月末の会員数は3,277万人と、日本人の3人に1人がTカードを持っていることとなります。この会員数と使えるお店の数が「Tポイント」の最大の魅力。「Tポイント」加盟は原則として1業種1社であるため、他社との差別化につながります。また、お客さまのアンケートでも、約17%の方がポイントを購入動機としており、販促効果が高いため、本年は50億円程度の売上高純増を目指しています。



## 第21回 バンクーバー冬季オリンピック 日本代表選手団を始めとする参加・観戦団体 ツアーで大きな実績

平成22年2月12日から28日まで、カナダ・バンクーバーで「第21回オリンピック冬季競技大会(2010バンクーバー)」が開催されました。

KNTは、その熱戦の様子を実際に体感していただくため、数多くの選手応援ツアーや男女フィギュアスケート観戦一般募集ツアーなどを企画・販売したほか、JOC(日本オリンピック委員会)日本代表選手団258名のツアーを取扱い、全43団体、総取扱人員1,132名の実績を上げました。このほか、現地でのJOCジャパンハウスの運営も行いました。

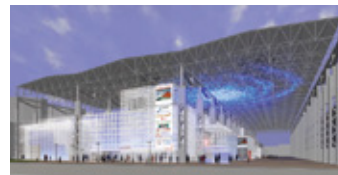


## 2010年上海国際博覧会の「日本産業館」に 運営参加

平成22年5月1日～10月31日の184日間、「より良い都市、より良い生活」をテーマに上海国際博覧会が開催されます。242カ国もの国と国際機関が参加し、観覧エリアは328ヘクタール、目標来場者数7,000万人という史上最大規模のEXPOです。世界各国のパビリオンや建築もお楽しみいただけます。

KNTは、日本政府館の公認旅行代理店として運営関係者の業務渡航からジャパンウィークなどさまざまな行事に参加する文化団体を取扱っています。また、堺屋太一氏が総合プロデュースする「日本産業館」については近鉄グループとして参加し、KNTは出展母体である上海万国

博日本産業館出展合同会社の運営に加わり、出資企業の共同プロジェクトに積極的に取り組むことで、大勢のお客さまに上海万博を体験していただく計画です。



日本産業館

## 直行チャーター便を利用したポーランド ツアーを展開

世界遺産の宝庫であり、豊かな自然に恵まれた国、ポーランド。これまで多くのお客さまから旅行先としてご要望いただいていたのですが、現在は定期直行便の設定がなく、ツアー数や内容面で期待にお応えできていませんでした。そこでKNTでは他社に先駆けて初めて、地方空港を含むポーランド直行チャーター便を利用したツアーを平成22年7月から展開します。このツアーでは、全国5空港7便をKNTが買取り現地直行の旅行専用フライトとすることで、乗継ぎ時間をなくし所要時間を短縮しました。また全便を\*オープンジョー運航としたことで、ヨーロッパの中心地であるポーランドを満喫していただけます。今年はショパン生誕200年の記念すべき「ショパンイヤー」であり、活況が予想される当ツアーにご期待ください。

KNTは地方からの座席供給量とバリエーションを確保し、お客さまにより多くの選択肢をご提供するために、今後も新しいチャーターに取り組んでいきます。

\*オープンジョー：行きで到着した空港とは別の空港から日本へ帰る方法。旅先での行動範囲が広がり、旅をさらにお楽しみいただけます。



## 「平城遷都1300年祭」に向けた取組みを積極化

古都・奈良はKNTにとってゆかりの深い地域。KNTは奈良に大きな人の流れが生まれる「平城遷都1300年祭」をビジネスチャンスととらえ、さまざまな取組みを進めています。

「せんとくんクーポン」などの販売管理業務、「団体バス駐車場」「休憩所」「平城京なりきり体験館」などの事前予約業務、平城宮跡内会場運営業務を協会から委託されています。さらに、「世界宗教者平和会議40周年記念事業」や「日本ユネスコ運動全国大会 in 奈良」などの関連イベント事業をKNTが受注しています。ほかにも、修学旅行や校外学習、個人旅行「メイト」の集客を図るなど、イベントを盛り上げるために力を尽くしています。

## 平城遷都1300年祭スケジュール

平城宮跡をはじめ、県内各地では季節に応じた恒例行事に加え、平城遷都1300年を記念したイベントを展開。1年中、奈良の魅力を見つけられます。

2010年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平城宮跡事業	花と緑のフェア 春季 4月24日～5月9日			光と灯りのフェア 夏季 8月20日～8月27日			平城京フェア 秋季 10月9日～11月7日			通季 4月24日～11月7日		
	巡る奈良事業 オープニング 県内各地・平城京周辺 1月1日～12月31日											
秘宝秘仏公開	冬季公開			春季公開			夏季公開			秋季公開		
	斑鳩・信貴山			飛鳥・藤原			吉野			大和高原・宇陀		
連携事業	緑化フェア											
	歩っこリング(ウォーク・マラソン・サイクリング)											
特別展覧会												

## 平城宮跡

2009年4月24日～11月7日



## 会場見取り図



マスコットキャラクター「せんとくん」


# 第30回 まつり インハワイ

平成21年6月5日から7日までの3日間、ハワイ・オアフ島ホノルルで開催された「第30回 まつり インハワイ」の様子をお届けします。

「まつりインハワイ」は、環太平洋諸国の参加者が自国の文化や伝統を紹介し、観客と触れあひながら交流するハワイ州公認の文化イベントです。第30回となった今回は、ハワイ州50周年公式記念行事にも認定され、過去最大規模となりました(参加者約4,000人、見学者約15万人)。

開催期間中は、ホノルルの中心部カラカウア大通りが“Matsuri”一色に。アラモアナセンターのセンターステージ

では3日間、「ふるさと交流ステージ」「パンパシフィック・フラフェスティバル」「おまつり広場」「環太平洋友好のステージ」と銘打って、数々のイベントが繰り広げられました。最終日に開催された「まつりパレード」はまつり最大の花形イベントで、数時間前から待ちわびた3万人の見学者が沿道を埋め尽くす中、世界中から集まった約100団体がパフォーマンスを披露しながらパレードし、大感動のうちに祭典を締めくくりました。



**まつりインハワイ シンボルマークの意味**  
 環太平洋から集まる「まつりインハワイ」の参加者は海によって繋がっています。Pan-Pacificのイニシャルを用いた2つのPは渦を形作り、国々を繋ぐ海を表現しています。交わる渦は文化の共有を意味し、「まつりインハワイ～Pan-Pacific Festival」が目標とする国際親善と理解の促進、友好関係の助成、そして多様性の受容を表しています。

**Staff Voice 1**

参加者の皆さまが日頃磨いた技を披露される機会を少しでも増やせるように、ここ数年例がないほど多くのステージや会場を用意し、視察や打合せを重ねました。皆さまに「参加して良かった」と感じていただくために、スタッフ一丸となって汗をかいた結果、大成功に終了させることができました。

**Staff Voice 2**

出演前の緊張の面持ち、終了後の満足感あふれる喜びの表情、感動の涙、そして観客からの惜しめない拍手…。30回目を迎えたこの祭典に、今年も運営スタッフとして立ち会えたことを幸せに思います。感動の場面のダイジェストが、我々の力の源であると思っています。



太鼓、フラ、よさこい、山車、ウクレレなど多くの出し物や数々のイベントで大いに盛り上がり、参加者、見学者、観光客、ハワイの人々が、出会いと感動・興奮を感じた3日間でした。



# 創造する舞台裏 Vol.4

## KNTのツアーづくり(環境学習旅行編)

KNTは、主に中高生を対象に「環境学習旅行」を提案しており、全国で200のコースを設定しています。この旅行は、自然や身近な歴史、生活文化など私たちを取り巻く環境について幅広く学習することで生徒の皆さんに環境保全の大切さを感じてもらい、関心呼び起こすことを第一の目的としています。

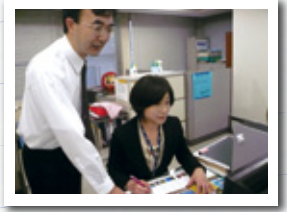
### 1 旅行企画の提案

環境学習の到達点は、環境を守るために生徒さん自身がアクションを起こすことにあります。KNTでは、生徒の皆さんにまずは環境問題への関心を持っていただけるよう、先生方とコミュニケーションを重ねながら学習目的に応じた旅行を企画・提案しています。



### 2 事前準備

着実に効果を上げるためには、入念な事前準備が欠かせません。詳細な旅行計画が決まったら、クラス別、グループ別に学習プログラムを立案して提供しています。



### 3 旅行実施

安全性の確保を最優先に考えながら、生徒の皆さんの「環境を守り、さらに改善していこう」という意欲を引き出すためのサポートを行います。

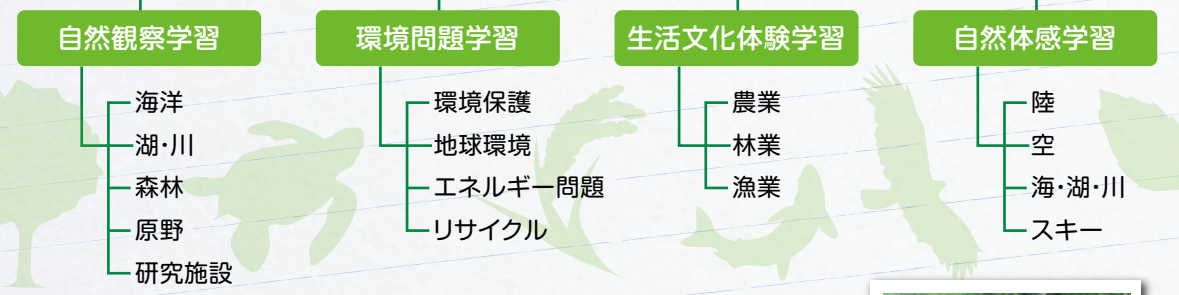


KNTでは、各地の特性を活かしたさまざまな「環境学習旅行」を全国で展開しています。生徒の皆さんが、地元の人たちとふれあって、楽しみながら環境に対する意識を高めるきっかけづくりのお手伝いをしたいと考えています。



団体旅行事業本部カンパニー 宮尾有美江

## 自然環境学習



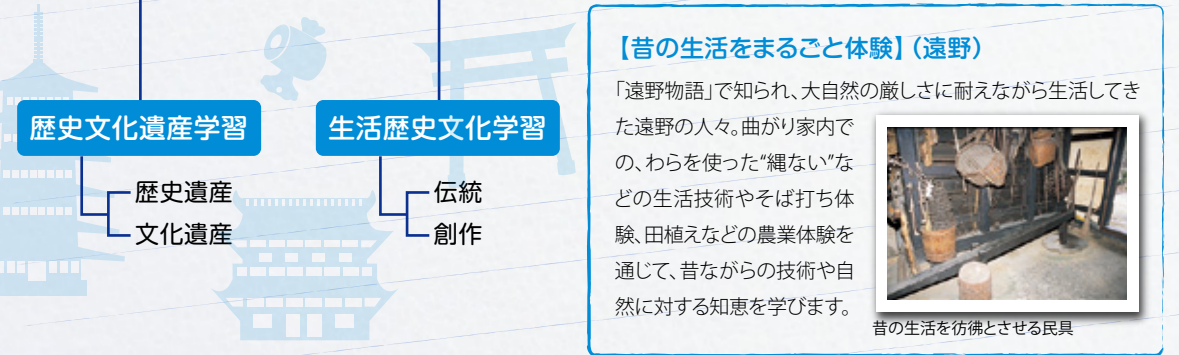
### 【森の生命を抱きしめる】(白神山地)

貴重な自然環境に恵まれた世界自然遺産「白神山地」での学習プログラム。「森の水がめ」ともいわれるブナ林の観察や植樹体験を通じて、自然の偉大さや生命力について学びます。



たくさんの生命を育む白神の森

## 歴史文化環境学習



### 【昔の生活をまるごと体験】(遠野)

「遠野物語」で知られ、大自然の厳しさに耐えながら生活してきた遠野の人々。曲がり家内での、わらを使った「縄ない」などの生活技術やそば打ち体験、田植えなどの農業体験を通じて、昔ながらの技術や自然に対する知恵を学びます。



昔の生活を彷彿とさせる民具

### CO<sub>2</sub>削減に貢献できる「カーボンオフセット教育旅行」を提案しています

「環境学習旅行」の一環として、KNTでは平成20年5月より、CO<sub>2</sub>削減に直接貢献できる「カーボンオフセット教育旅行」をスタートしました。これは、参加者に追加金額をお支払いいた

だき、その金額をCO<sub>2</sub>削減事業に投資することで、旅行から排出される分のCO<sub>2</sub>を相殺する取組みです。旅行へ出発する前には、「この旅行からはこれだけCO<sub>2</sub>が出るんだよ」と説明する事前講習会を実施し、地球温暖化の現状や環境保全の大切さを子どもたちに伝えています。

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第72期末 平成21年12月31日現在
資産の部	
<b>流動資産</b>	<b>74,461</b>
現金・預金	28,683
預け金	10,000
受取手形及び営業未収金	16,485
未収手数料	5,807
未渡クーポン	876
商品	19
たな卸資産	57
前払費用	1,032
団体前払金	10,192
繰延税金資産	70
未収法人税等	171
その他	1,118
貸倒引当金	△53
<b>固定資産</b>	<b>22,722</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>7,084</b>
建物	2,077
土地	4,249
その他	757
<b>無形固定資産</b>	<b>3,794</b>
ソフトウェア	2,446
ソフトウェア仮勘定	630
のれん	580
その他	137
<b>投資その他の資産</b>	<b>11,843</b>
投資有価証券	3,638
長期貸付金	340
差入保証金	5,719
繰延税金資産	247
その他	2,569
貸倒引当金	△672
<b>資産合計</b>	<b>97,183</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第72期末 平成21年12月31日現在
負債および純資産の部	
<b>流動負債</b>	<b>86,752</b>
短期借入金	60
営業未払金	10,784
未払金	3,983
未払法人税等	209
預り金	19,050
未精算旅行券	37,274
団体前受金	12,262
賞与引当金	217
繰延税金負債	112
その他	2,798
<b>固定負債</b>	<b>7,847</b>
退職給付引当金	561
繰延税金負債	137
旅行券等引換引当金	2,017
その他	5,132
<b>負債合計</b>	<b>94,600</b>
<b>株主資本</b>	<b>2,333</b>
資本金	7,579
資本剰余金	4,930
利益剰余金	△10,017
自己株式	△158
<b>評価・換算差額等</b>	<b>35</b>
その他有価証券評価差額金	△90
繰延ヘッジ損益	131
為替換算調整勘定	△5
<b>少数株主持分</b>	<b>214</b>
<b>純資産合計</b>	<b>2,583</b>
<b>負債および純資産合計</b>	<b>97,183</b>

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	第72期 平成21年1月1日から 平成21年12月31日まで
<b>営業収益</b>	<b>62,785</b>
<b>営業費用</b>	<b>66,125</b>
<b>営業損失</b>	<b>3,339</b>
<b>営業外収益</b>	<b>608</b>
受取利息	349
受取配当金	68
その他	190
<b>営業外費用</b>	<b>160</b>
支払利息	107
持分法による投資損失	31
その他	21
<b>経常損失</b>	<b>2,891</b>
<b>特別利益</b>	<b>317</b>
固定資産売却益	208
関係会社株式売却益	60
その他	48
<b>特別損失</b>	<b>2,249</b>
訴訟和解金	789
特別退職金	708
固定資産除却損	342
その他	408
<b>税金等調整前当期純損失</b>	<b>4,824</b>
法人税、住民税及び事業税	172
法人税等調整額	3,554
少数株主損失	117
<b>当期純損失</b>	<b>8,433</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結株主資本等変動計算書 第72期(平成21年1月1日から平成21年12月31日まで) (単位:百万円)

株主資本	平成20年12月31日残高	在外子会社の会計処理の変更に伴う増減	連結会計期間中の変動額			連結会計期間中の変動額合計	平成21年12月31日残高
			当期純損失(△)	自己株式の取得	株主資本以外の項目の連結会計期間中の変動額(純額)		
資本金	7,579				—	7,579	
資本剰余金	4,930				—	4,930	
利益剰余金	△1,459	△124	△8,433		△8,558	△10,017	
自己株式	△156			△1	△1	△158	
株主資本合計	10,893	△124	△8,433	△1	—	△8,560	2,333
評価・換算差額等							
その他有価証券評価差額金	244				△335	△335	△90
繰延ヘッジ損益	△718				850	850	131
為替換算調整勘定	208				△214	△214	△5
評価・換算差額等合計	△265				300	300	35
少数株主持分	321				△107	△107	214
純資産合計	10,949	△124	△8,433	△1	193	△8,366	2,583

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 企業理念

「KNTは世界中の人々の出会いと感動を創造し、  
笑顔あふれる社会の実現にチャレンジしていきます。」

### 企業ブランド名



### 企業ブランドロゴマーク



## ブランドステートメント

私たちは、お客さまにたくさんの「!」をお届けし、感動・笑顔・信頼の「物語」を創造していきます。  
お客さまの 感動×笑顔×信頼＝私たちの喜びです

1. 私たちは、お客さまの声に徹底的にこだわります!
2. 私たちは、明るい笑顔とまごころをもってお客さまに接します!
3. 私たちは、安全を優先し、お客さまに安らぎと安心をお届けします!
4. 私たちは、ネットワークとチームワークで一丸となって、お客さまの信頼に応えます!
5. 私たちは、熱意と創意をもって常に新しいことに挑戦します!
6. 私たちは、社会の一員であることを認識し、事業活動を通じて国際交流、環境保全、社会貢献に努めます!

## 会社概要

商号	近畿日本ツーリスト株式会社	取締役および監査役(平成22年3月30日現在)
設立	昭和22年5月	取締役会長 山口 昌紀
創立	昭和30年9月	代表取締役社長 吉川 勝久
本社	東京都千代田区神田松永町19番の2 電話番号(03)3255-7115	代表取締役専務 馬越 俊司
資本金	7,579百万円	専務取締役 越智 良典
発行済株式総数	96,175,121株	常務取締役 斎藤 彰英
		取締役 市井 正之
		取締役(常勤) 大塚 政夫
		取締役(常勤) 中辻 康裕
		取締役 小川 亘
		監査役 岸田 雅雄
		取締役 野中 雅彦
		監査役 植田 和保

## 株主メモ

単元株式数	1,000株	上場証券取引所	東京・大阪 市場第1部
事業年度	1月1日から12月31日まで	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
基準日	定時株主総会関係 12月31日 期末配当支払株主確定関係 12月31日 中間配当支払株主確定関係 6月30日 その他 あらかじめ公告する日	特別口座の口座管理機関	三菱UFJ 信託銀行株式会社
定時株主総会	3月中	同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ 信託銀行株式会社 証券代行部 電話番号(0120)232-711(フリーダイヤル)
公告方法	電子公告 <a href="http://www.knt.co.jp/kouhou/e-koukoku">http://www.knt.co.jp/kouhou/e-koukoku</a> ただし、電子公告によることができない場合は、 日本経済新聞に掲載		

## 株式に関するお手続きについて

### 特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■特別口座から一般口座への振替請求</li> <li>■単元未満株式の買取請求</li> <li>■住所・氏名等のご変更</li> <li>■特別口座の残高照会</li> </ul>	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話番号(0120)232-711(フリーダイヤル)
<ul style="list-style-type: none"> <li>■郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>■支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>■株式事務に関する一般的なお問合せ</li> </ul>	株主名簿管理人	<b>[手続き書類のご請求方法]</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■音声自動応答電話によるご請求 (0120)244-479(フリーダイヤル)</li> <li>■インターネットによるダウンロード <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a></li> </ul>

### 証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>■支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>■株式事務に関する一般的なお問合せ</li> </ul>	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話番号(0120)232-711(フリーダイヤル)
■上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	